

経営比較分析表（令和5年度決算）

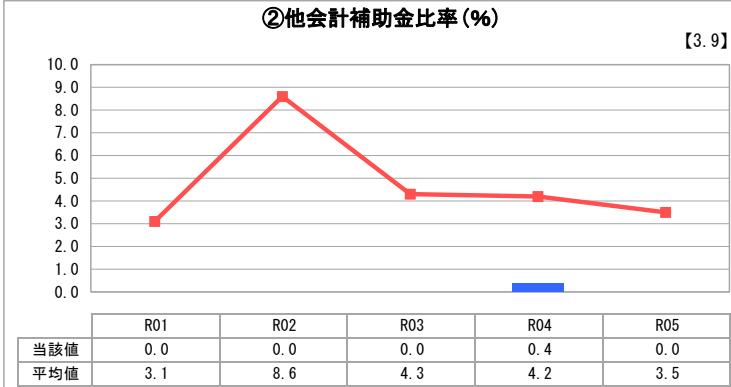
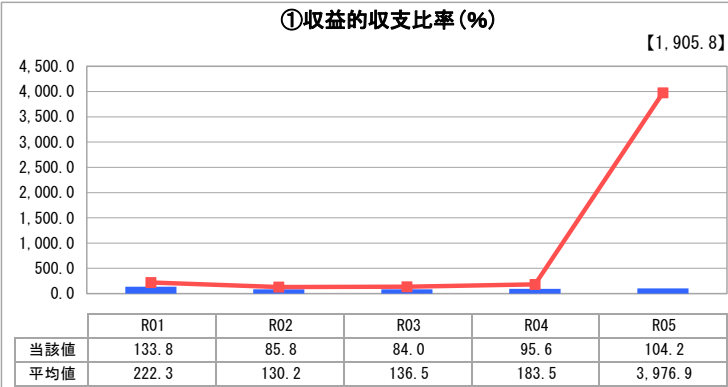
長野県諏訪市 諏訪市営駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	30	

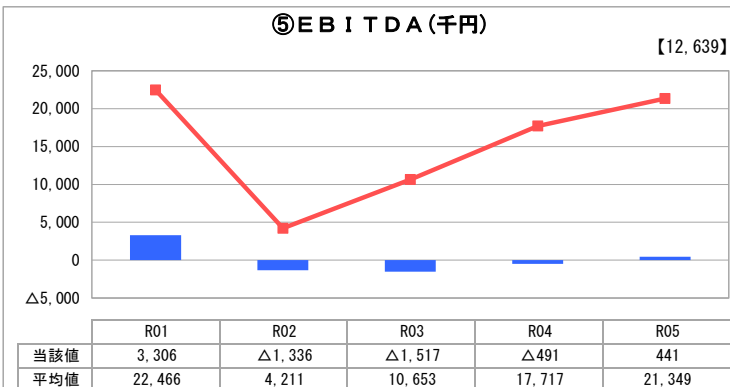
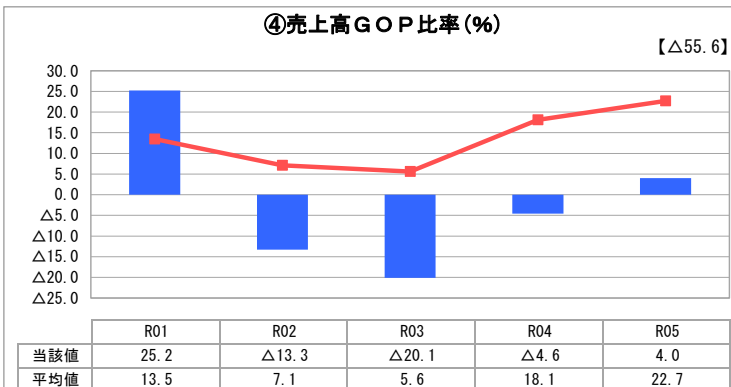
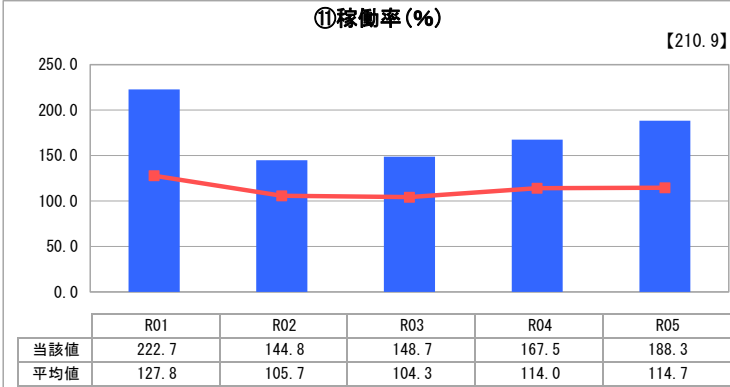
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	3,996
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
154	180	無

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



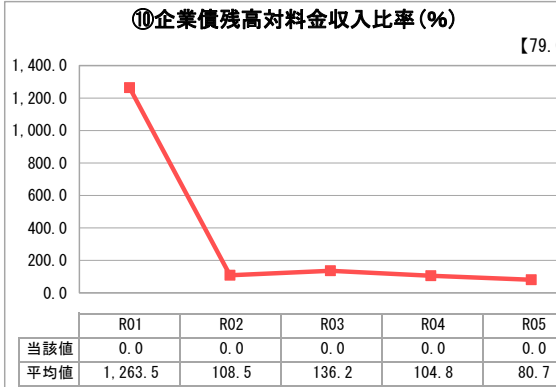
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
68,254
⑧設備投資見込額(千円)
104,313



分析欄

1. 収益等の状況について
令和5年度の駐車場料金収入額は、新型コロナウイルス流行の落ち着いたきと5月の感染症5類移行を受け、駐車場利用者の回復傾向が見られたことから、料金収入額は前年度比13%増となり、コロナ禍前の令和元年度に比して-15%まで改善してきた。このため令和2年度から3年間続いた一般会計からの繰入を行わずに済んだ。
今後も引き続き利用者の足が戻ってくるか動向を注視していく。

2. 資産等の状況について
建設後30年を経過したこともあり、老朽化した各設備等の修繕を計画的に実施していく必要があることから、実施に際しては一般会計からの繰入れが必要となるため、個別施設計画等に基づき、今後の修繕箇所、改修箇所について、適宜優先順位を検討し対応していく。

3. 利用の状況について
新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に起因して、令和元年度から2年度にかけて利用者数は大幅に減少し、低い利用率のまま横ばい状態が続いてきたが、3年度から稼働率の回復傾向が見られ、また感染症の5類移行等により利用者の増加が続いている。今後もコロナ禍前の状況に近づいていくか注視していきたい。

全体総括
駐車場の老朽化については、竣工より30年を経過したこともあり、傷んだ建物及び設備に対応する必要がある。その際多額の費用が予想されることから、修繕等を計画的に実施するよう検討をしていかなければいけない。個別施設計画などに基づき、一般会計からの繰入れも含めた検討を行っていく必要がある。
今後の利用者の推移については、収益に直結するためどの程度コロナ禍以前の水準まで戻るのが注視して、駐車場事業の運営に反映していく必要がある。